



▶ Interview with our mayor

山口町政、 4期目スタート

任期満了による美浜町長選挙が2月22日に告示され、現職の山口治太郎氏が、無投票で当選されました。

今月号では、4期目の町政にあたる山口町長のまちづくりの方針についてお聞きしました。

～ 山口町長の政策 ～

第四次美浜町総合振興計画の将来像

「自然かがやき 人いきいき まちがにぎわう ^{うま} 美^{うま}し美^{うま}浜」

の実現に向かって

「健康づくりと生涯学習

美^{うま}し美^{うま}浜を協働で」を基本理念として

次の政策を重点的に推進する。

一・健やかで元気と
活気のあるまち

- 町民の健康増進対策と
高齢者や障がい者の福祉の充実
- 子育てのしやすいまちづくり
- 若者が住みやすい住宅政策
- 農林水産業の振興と
獣害対策等の実施
- 美浜の資源を活かした観光の振興
- 原子力発電の安全対策と
自然災害対策
- 原子力発電との共生と
企業誘致対策の促進

二・美しい自然と
ここら豊かな人が共生するまち

- 三方五湖や里地里山の活用と
環境保全
- 学校教育施設の整備と教育の充実
- 生涯学習センターの活用と
生涯スポーツの推進
- 町内の歴史的な遺産の調査と活用

三・みんなで築く協働のまち

- ハートフル対話と出前講座の活用
- 町民と行政が
知恵と力を出し合う施策

まちの元気は

町民一人ひとりの健康から

—— 初めに、当選された現在の心境をお聞かせください。

無投票で4期目を迎えられたことはありがたいと思っておりますが、その反面、自分の政策を争点とする場を持つことができませんでした。

議会や町民の皆さんに、自分の考えをきちんと説明しながら、諸政策を実行していく責任を強く感じています。

4期目は3期目の延長ではない、ということを経銘じ町政に取り組んでいく所存です。

健康づくりの更なる推進

—— 4期目の政策は、「健康づくり」、「生涯学習」、「協働」の3つが大きな柱となっています。まず、一つ目の「健康づくり」についてお聞かせください。

人が幸せに生活していくには何が必要なのか。健康であると

いうことがその基本であり、多くの町民が健康でありたいと願っているはずです。

4期目の政策は、健康という幸福の原点に戻りたいと思います。町民の皆さんが元気であることは、そのまま、まちの元気と活気につながるはずだからです。

これまで町民の健康づくりについては、平成20年5月に、健康づくり計画「健康みはま21」を策定し、各種の取り組みを進めてきました。その結果、健診受診率については、平成21年度は特定健診が県下5位、がん検診が3位と大幅に上昇する等、町民の皆さんの健康に対する意識は高まりつつあると手ごたえを感じています。

しかし、当町の平成17年の平均寿命や健康寿命はともに県内中位であり、また国民健康保険の一人あたりの医療費は常に最上位にあります。

平成23年度は、これらの現状を

改善するため、健康づくりを専任する部署として「健康づくり課」を設置したいと思います。そして、健康に関わる各種統計データが県内でトップクラスになるよう、これまで以上に健康づくりへの取り組みを強化していきたいと考えています。

生涯学習で

人と人とのつながりを創る

—— 「生涯学習」については、いかがですか。

健康づくりとは、単に病気にかからないことだけをいうのではなく、ありません。その中には、生きがいづくりという意味も含まれています。そして、生きがいについて考えるとき、生涯学習というものが、大きな役割を果たすことになると思います。

生涯学習という言葉を使うと、机の上で勉強するイメージが強いかと思います。もちろん、それもあります。しかし、一番大事なのは、何を学ぶかではなく、生涯学習の場を通して、人と人とのつながりを創っていくことだと考えています。

特に、高齢者の方には、家に閉じこもっているのではなく、

できるだけ外に出て、人とのコミュニケーションを大切してほしいと思います。そして、そこから、生きがいにつながるものを見つけていただくことができればと思っています。

平成24年6月には、生涯学習センターの完成を予定しています。単なる学習の場ではなく、人と人とのつながりを創り、健全な人と社会を創造するための拠点として、この施設を活用していきたいと考えています。

協働で実現する美し^{つま}美浜

—— 「協働」という言葉には、どのような思いが込められているのですか。

協働という言葉を使いやすいうと、住民と役場が、協力してまちづくりに取り組んでいくことです。ここでいう住民とは、個人はもちろんのこと、広く集落や団体、企業も含まれます。

現代は、社会環境の変化が目まぐるしく、住民ニーズも多様化しています。

このような社会の変化に対応していくためには、住民と役場がお互いに信頼できるパートナーとなり、一緒になって地域

における課題の解決方法や、最適な公共サービスのあり方を考えることが必要です。そして、それぞれの立場でその役割を考え行動し、地域に活力を与え住みよいまちをつくっていくこと、これこそが、私の思い描く協働の姿です。

先に政策の柱として申し上げた健康づくりと生涯学習の推進は、その取り組みに終わりがあ
るわけではありません。役場が
支援し、町民の皆さん一人ひと
りが活動するという協働が、ま
さに必要となつてきます。

そして、一歩ずつでも、協働で
何かを達成していくその先に、美

し美浜の実現が待っていると考
えます。町民の皆さんのご協力を
あらためてお願いいたします。

一人ひとりを大切にする

教育現場を目指す

—— 今後の観光振興や子育て支
援、原子力行政についてお聞かせ
ください。

観光振興については、既存の
資源の活用や体験交流事業の推
進、案内標識の整備、エネル
ギー環境教育体験施設の建設等
で、交流人口の増加を図ってい
きたいと思っています。



山口 治太郎 (やまぐち じたろう)

昭和18年4月2日生まれ(67歳)。気山在住。福井県立若狭農林高等学校を卒業後、建設省敦賀国道工事事務所に勤務。大阪国道工事事務所工務係長、福井工事事務所建設監督官等を経て、平成9年4月に美浜町助役に就任。

平成11年3月、美浜町長に初当選し、平成23年3月から4期目を務める。

子育て支援では、要望のある
子どもの遊び場の確保につい
て、遊具を備えた公園等を整備
していきたいと考えています。

原子力行政につきましては、
今後も、発電所の更なる安全性の
確保の追及に努めていきます。

—— 政策の中に教育の充実が掲
げられていますが、どのような
教育施策を考えていますか。

昨年美浜中学校が完成し、平
成24年3月には美浜南小学校の
体育館が完成する予定です。今後
も、教育施設の整備を進めると
もに、次は施設に魂を込める思
いで、教育内容の充実を注いで
いくつもりです。特に、不登校児
に対する支援をしっかりと行っ
ていきたいと考えています。

また、子ども一人ひとりを大
事にし、その能力や個性を伸ばす
ことのできる教育現場をつくる
ための支援も、あわせて行っ
ていきたいと思っています。

ともに一歩前へ

踏み出しましょう

—— 協働のまちを築くために
ハートフル対話を活用するとあ
りますか？

町民の皆さんと町政について
語り合う「ハートフル対話」を今
後も継続し、町民と役場との情
報共有に努めていきます。

ハートフル対話は、町民の皆
さんとのコミュニケーションを
大事にしながらまちづくりを進
めたいという思いのもと、私が町
長に就任した平成11年から毎年
開催しています。

従来と違う新しいやり方を検
討する時期に来ていると感じて
いますので、一人でも多くの
人と対話ができるような方法を模
索していきます。

—— 最後に、町民の皆さんへ
メッセージをお願いします。

協働のまちづくりを進めるた
め、役場はこれまで以上に努力・
研鑽を重ね、自らの責務を全う
していきます。

ですから、町民の皆さんも、
協働のまちづくりの趣旨をご理
解いただき、その達成のために
一歩前に踏み出してください。

町民と役場が手を取り合い、
ともに歩むことで、第四次美浜
町総合振興計画の将来像「自然か
がやさしいいきいきまちがにぎわ
う 美し美浜」は、必ず実現でき
ると私は信じています。

平成23年度 美浜町の 予算

町の会計は、一般会計・特別会計・企業会計の3つに分かれています。

一般会計は、町の事務や事業、施設の管理運営等、町の基本的な業務に使われる会計のことです。

特別会計は、特定の事業を行うために、一般会計と区別して経理する必要がある会計のことで、町には7つの特別会計があります。

企業会計は、一般の民間企業と同様の会計方式をとるもので、水道事業会計があります。

予算総額 109 億 8,944 万円

一般会計 74 億 6,385 万円

特別会計 33 億 3,232 万円

企業会計 1 億 9,327 万円

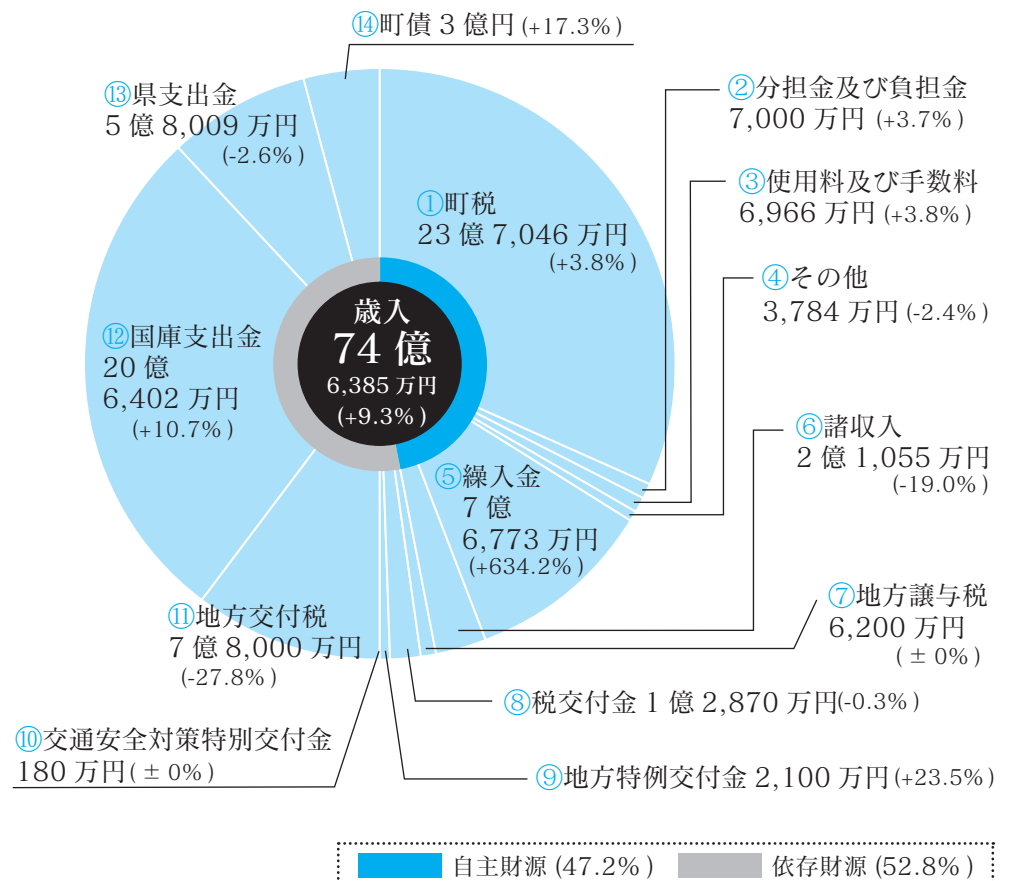
※実際の予算額は千円単位ですが、分りやすくするため万円単位で表示しています。

2月8日から10日にかけて開催された第1回美浜町議会臨時会で可決のあった平成23年度予算の主な内容をお知らせします。

なお、今回お知らせする予算は、2月27日に、任期満了に伴う町長選挙が執行予定であったことから、必要最小限の経費と継続事業の一部の経費のみを計上した、いわゆる「骨格予算」となっています。そのため、投資的経費や政策的経費は、今後の補正予算で計上する予定です。

● 一般会計歳入

※()は対前年度比



一般会計は対前年度比9・3%増

一般会計は、骨格予算ながらも、生涯学習センター、美浜南小学校体育館及びせせらぎ保育園の建設を予定しているため、74億6,385万円と前年度に比べ9・3%の増となりました。

町税で、固定資産税の増収が見込まれるため、前年度比3・8%の増となる23億7,046万円を計上しました。また、繰入金が前年度と比較して大きく増えています。これは、美浜南小学校体育館とせせらぎ保育園の2施設の建設に備え積み立てていた基金(貯金)を取り崩し、建設費

用語説明

歳入

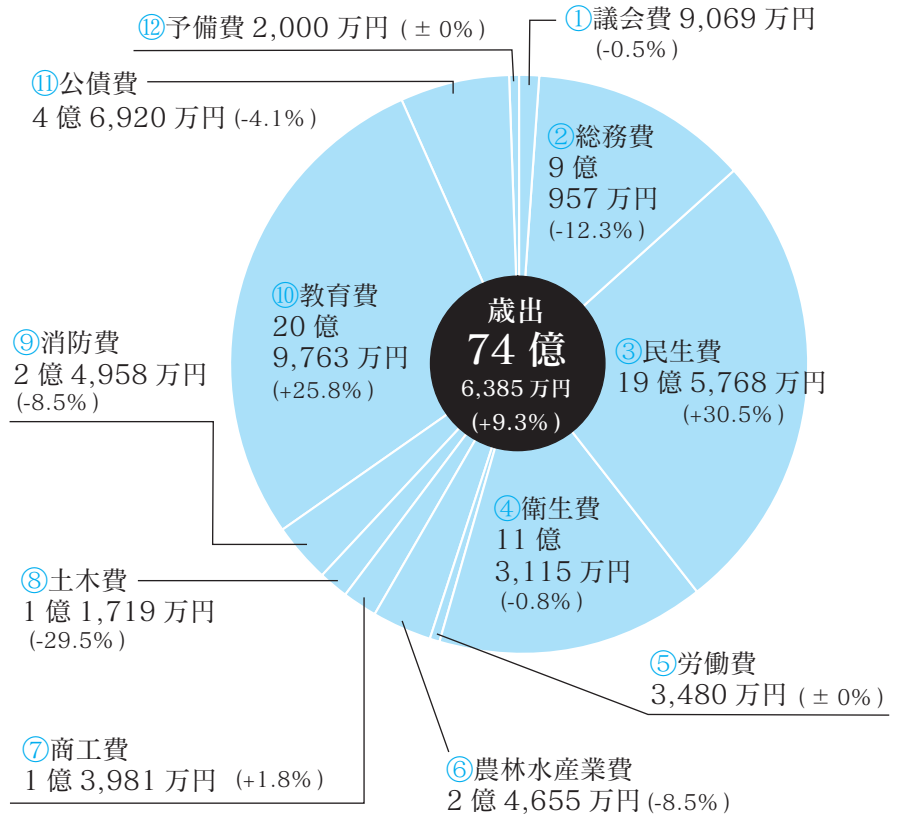
- ①町税…町民税、固定資産税、軽自動車税等、町に納められる税金
- ②分担金及び負担金…一定の事業により特別な利益を受ける者からその事業に要する経費の全部または一部を受益に応じて徴収するお金
- ③使用料及び手数料
使用料…総合体育館等、公の施設の使用料
手数料…税の証明や住民票等の交付に対する手数料
- ④その他…財産収入、繰越金、寄附金
- ⑤繰入金…一般会計・特別会計・基金等の会計間で相互に資金運用するお金
- ⑥諸収入…他の収入科目に含まれない収入をまとめた科目。延滞金や預金利子、雑入等
- ⑦地方譲与税…自動車重量譲与税、地方道路譲与税
- ⑧税交付金…利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金
- ⑨地方特例交付金…児童手当の制度拡充や子ども手当の創設に伴う地方負担の増加分等に対応するために国から交付されるお金
- ⑩交通安全対策特別交付金…交通安全施設の整備、安全運転の確保、交通秩序の確立等一連の対策のために国から交付されるお金
- ⑪地方交付税…地方公共団体が一定水準の業務ができるよう財政状況に応じて国から交付されるお金
- ⑫国庫支出金…国が公益性を認め、その事業を実施するために国から交付されるお金
- ⑬県支出金…事業など特定の目的の財源として県から交付されるお金
- ⑭町債…各事業を行うために町が借り入れるお金

歳出

- ①議会費…議会活動にかかる経費
- ②総務費…自治振興、広報、戸籍、統計、選挙等にかかる経費
- ③民生費…児童福祉・障がい者への福祉サービスや老人福祉の増進、保育園や保健福祉センターの管理・運営にかかる経費
- ④衛生費…保健衛生、ごみ処理など、衛生的な生活のためにかかる経費
- ⑤労働費…労働者への貸付等にかかる経費
- ⑥農林水産業費…農林水産業の施設整備・振興や農業委員会の運営に係る経費
- ⑦商工費…中小企業の振興育成・雇用促進、観光振興にかかる経費
- ⑧土木費…道路・橋・河川・町営住宅の管理や都市計画にかかる経費
- ⑨消防費…消防署や水防・防災対策にかかる経費
- ⑩教育費…小中学校の管理・運営、増改築や総合体育館等の管理運営、社会教育、学校給食にかかる経費
- ⑪公債費…地方債の元金及び利子の支払いにかかる経費
- ⑫予備費…予算編成で予期しなかった支出に対応するための経費

● 一般会計歳出

※ () は対前年度比



● 特別会計・企業会計

会 計 区 分		予算額 ※() は対前年度比
特別会計	診療所事業	1億8,026万円 (+1.2%)
	国民健康保険事業	13億756万円 (+3.9%)
	後期高齢者医療事業	1億693万円 (-5.8%)
	介護保険事業	10億369万円 (-0.2%)
	簡易水道事業	4,807万円 (-66.9%)
	集落排水処理事業	1億7,520万円 (+30.7%)
	公共下水道事業	5億1,061万円 (+0.4%)
	小 計	33億3,232万円 (-0.4%)
企業会計	上水道事業	1億9,327万円 (-22.7%)

に充てるためです。

歳出では、せせらぎ保育園の建設費を含む民生費が、前年度比30.5%増の19億5,768万円、生涯学習センターと美浜南小学校体育館の建設費を含む教育費が、前年度比25.8%増の20億9,763万円となっています。

特別会計と企業会計はともに減

特別会計は、総額33億3,232万円で、前年度に比べ0.4%の減となりました。これは、骨格予算に伴い、簡易水道事業で一部の事業の予算計上を見送ったためです。また、平成22年度末をもって、老人医療事業の会計が廃止されるため、平成23年度の特別会計は7会計となっています。

企業会計では、大規模な工事の予定がないため、前年度比22.7%減の1億9,327万円となりました。

平成 23 年度

主 要 事 業

平成 23 年度の当初予算では、施設の建設等にかかる投資的な経費を抑えています。

しかし、生涯学習センター、美浜南小学校体育館及びせせらぎ保育園の 3 施設については、平成 22 年度に建設工事の実施が決定していたため、事業費が次のとおり計上されています。

生涯学習センター建設事業

事業費 10 億 963 万円

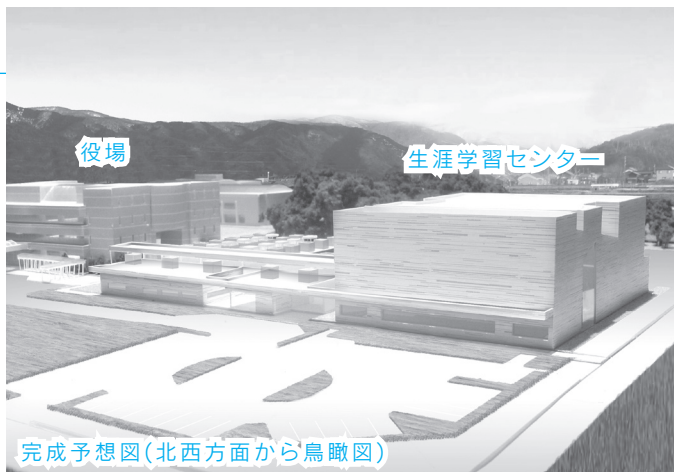
中央公民館に代わる新たな生涯学習の拠点施設を役場西隣に建設します。本施設は、図書館や公民館、文化ホール等の機能を兼ね備えており、平成 24 年 6 月の完成を予定しています。

【施設概要】

延床面積：3,964 m²

構 造：鉄筋コンクリート造 3 階建

ホール客席数：481 席（固定席）



完成予想図(北西方面から鳥瞰図)



完成予想図

美浜南小学校体育館改築事業

事業費 4 億 3,579 万円

建築から 40 年が経過し、老朽化が進んだ体育館を取り壊し、新しい体育館を建設します。新体育館の面積は旧体育館の約 1.5 倍で、平成 24 年 3 月の完成を予定しています。

【施設概要】

延床面積：1,225 m²（渡り廊下部分を含む）

構 造：鉄骨鉄筋コンクリート造平屋建

せせらぎ保育園整備事業

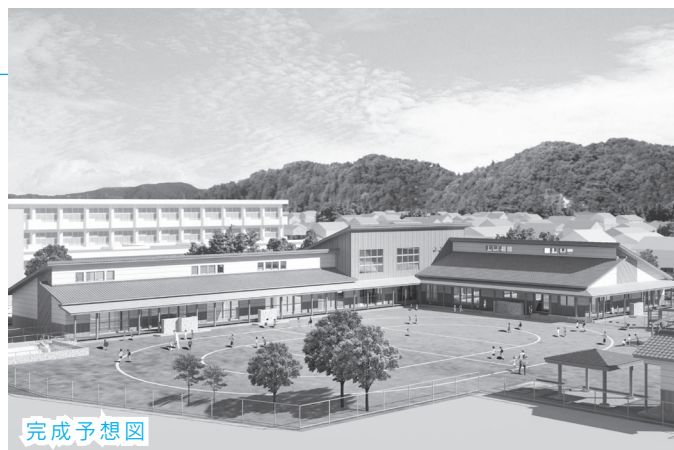
事業費 5 億 1,188 万円

中央公民館の跡地を利用して、新しいせせらぎ保育園を建設します。園舎には、多目的に活用できるランチルームや未満児専用の遊戯室が設けられており、平成 24 年 3 月の完成を予定しています。

【施設概要】

延床面積：998 m²（園舎部）

構 造：木造平屋建瓦葺



完成予想図